

取組【3】

発見・創出したコンセプトの各種構想・計画への位置づけ



連携①

②

観光地の資源特性 ◎：優先的に実施 ○：基本的に実施 ★：特に配慮して実施	実施主体 (特に効果が高いもの)
◎街並み ◎都市 ◎社寺 ◎自然風景 ◎スキー場 ◎農山村地 ◎温泉	<input checked="" type="checkbox"/> 行政 <input checked="" type="checkbox"/> 観光推進組織 <input type="checkbox"/> 民間事業者

取組の狙い

○発見・創出したコンセプトを構想・計画に位置づけることにより、それに基づいて実施される事業を統一的なものとし、地域の特徴やイメージを定着させる。

取組推進・障害打開のポイント

○構想・計画の策定当初からのコンセプト発見・創出のための体制づくり

・地域のコンセプトを計画に位置づけるためには、計画を策定する組織の構成に当たって、当初よりコンセプトの発見や創出を目的とした組織を設置しておくなどの仕組みづくりが効果的である。

○構想・計画に基づいた取組へのコンセプトの的確な反映

- ・地域の住民自らが創出したコンセプトを各種構想や計画に組み込み、以降、実施される施設の整備、イベントの開催、PR活動などのすべての取組においてコンセプトが表現されるようにすることが重要である。
- ・構想や計画においては、より具体的な事業の内容が検討されることとなるが、その際にもコンセプトを反映させることが重要となる。例えば、景観整備を行う際の壁の色彩や路面の仕上げのを検討に当たっても、コンセプトから考えを展開して決定することで、景観に一体感が生まれる。
- ・コンセプトを位置づけた構想・計画を、実際の事業を実施する際においても常に意識することで、地域のイメージを作り上げることに繋がる。

○当初のコンセプトを意識した取組の推進

・自らの地域にとって、取り組もうとする事業が本当に必要かどうかを判断する際の基準となるのがコンセプトである。観光地づくりを進めるにあたり、様々な事態に直面し、判断を求められる際にも、必ず地域のコンセプトに立ち戻り、それを基に判断することが重要である。

期待される効果

- 創出したコンセプトを地域の構想・計画に位置づけることで、すべての事業に統一感を持って進めることができ、地域イメージの定着に繋がる。
- コンセプトを誰もが認識できるようにすることで、観光地づくりに関わる関係者、地域住民の意識を統一することができる。

連携が必要な取組

- 観光地づくりの基軸となるコンセプトの発見・創出 (No.2)
- 環境・景観保全のための条例、協定、制度の策定 (No.4)
- 各種支援制度の効果的活用 (No.5)
- 観光資源を体験するプログラムの発掘・実施 (No.6)
- 観光資源を表現する施設の整備 (No.7)
- 観光の立ち寄り、情報拠点となる施設の整備 (No.9)
- 発見・創出されたコンセプトを表現するイベントの実施 (No.12)
- 観光資源を広めるための広告宣伝活動 (No.13)

参考事例

○事例1 「くにさき千年ロマンタイム・トラベル・ビジョン」の策定（豊後高田）

各地域の特色を踏まえ、高田市を古代（山地、田園、集落）、中世（寺、社寺、仏閣）、近世（城下町）、昭和（高田まちづくり）に区分し、地域全体の中で、創出したコンセプトである「昭和の町」を表現している。

<特徴>

- ・地域ごとにコンセプトを提示する中で、「昭和の町」を認識させることに成功している。
- ・行政計画に「昭和の町」を位置づけることにより、地域住民にとっても認識が深まり、意識の統一にも貢献している。

○事例2 「豊後高田“昭和の町”活性化基本計画」の策定（豊後高田）

「昭和の町」を行政計画へ位置づけることにより、活性化に向けた統一的方向性の確認と課題の認識が整理されており、昭和の町の一層の取組強化に繋がっている。

<特徴>

- ・計画の中において、昭和の町が備えるべき機能（居住、商業、観光等）の整理と目標を決定している。
- ・事業内容においても、昭和の町のイメージに合った「絵本美術館」の整備や、昭和の町電飾アーチ、看板、街灯整備事業に取り組んでいる。

○事例3 小野川温泉観光知実行委員会による活性化計画の策定（小野川温泉）

JR東日本とJTBの若手勉強会との共同プロジェクトによりソフト面を重視した取組を実施している。コンセプトは「そぞろ歩きできる温泉街」となっており、計画の中にそれを位置づけることによって、各種事業を統一感を持って進めている。

<特徴>

- ・企画の中で、地域自ら入湯手形の仕組みの構築、露天風呂、足湯、飲泉所の整備を実施することで、コンセプトである「そぞろ歩きできる温泉街」を表現している。
- ・共同プロジェクトにより期間も限られていたため、施設の整備、周辺環境の整備を統一的に進めることができおり、そのことが、地域イメージの定着にも貢献している。